

福井市貯留施設 大規模雨水処理施設整備事業計画（福井市）

（様式 1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>日野川処理区に位置する北部排水区及び町屋・大願寺排水区は、合流式下水道で整備されており、経田幹線、ハツ島幹線及び町屋幹線にて、上里ポンプ場へ集水している。上里ポンプ場では、平常時には全ての下水を処理場に送水しているが、大雨時には処理場の処理能力を超過する分を底喰川に放流している。</p> <p>本市では、平成 28 年から令和 7 年 11 月現在の過去 10 年間に於いて、計画降雨を超える大雨が 6 回降っており、その度に当該排水区では浸水被害が多数発生している。原因は上里ポンプ場や既設管路の排水能力不足であるため、早急な浸水対策が必要となっている。合流式下水道区域では、ポンプ場の更新に合わせた雨水排水能力の向上に取り組んでいるが、上里ポンプ場の更新まで長期間を要する見込みであるため、浸水被害が顕著な箇所に貯留施設を整備することにより、早期に浸水被害の軽減を図る。</p>
整備目標	<p>本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本計画における対象降雨：43.1mm/hr</li> <li>・ 目標とする理由：公共下水道事業計画における計画降雨</li> <li>・ ハード整備による整備水準の目標：43.1mm/hr（5年確率降雨）</li> </ul> <p>目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>) 生命の保護の観点：当該排水区の浸水被害を防止する。</li> <li>) 都市機能の確保の観点：乗物の移動限界水深である 20cm 程度を目安とする。</li> <li>) 個人財産の保護の観点：床上浸水を防止するため 45cm 程度以下を目安とする。</li> </ul> <p>ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>) ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備により、43.1mm/hr（5年確率）の降雨において浸水被害を防止する。</li> </ul> </li> <li>) ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> <li>住民の自助・共助の防災意識向上を図るための啓発活動や説明会を行うとともに、補助制度等（雨水貯留タンクや止水板の設置）の整備、土のう配布、情報の提供・共有の強化及び活用などを行い、対象降雨を超える降雨が生じた際、浸水被害の最小化を図る。</li> </ul> </li> </ul>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<p>・ 有 (平成19年6月策定済み) (令和4年3月改訂)</p>			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水貯留施設の整備 3箇所 (貯留能力:計7,060m <sup>3</sup> )
			下水道管理者以外	
	ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内水ハザードマップの作成・公表</li> <li>・ 降雨情報の収集と提供</li> <li>・ 水防体制</li> <li>・ 出前講座等</li> <li>・ 土のうの配布</li> <li>・ 雨水貯留タンク、止水板の設置支援</li> </ul>	
			下水道管理者以外	・ 福井減災プロジェクト
	自助	ハード対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土のう設置</li> <li>・ 雨水貯留タンクの設置</li> <li>・ 止水板の設置</li> </ul>	
ソフト対策		・ 避難訓練 (福井市上下水道局)		

名称	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
貯留施設	445	50	408	943		1,846
導水管	290		215		123	628
ポンプ施設	37		50		50	137
圧送管			193		123	316
計	772	50	866	943	296	2,927

年度計画(百万円)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p>事業評価の内容</p> <p>浸水被害の軽減便益：109億円が削減される。</p> <p>B/C：3.4</p> <p>経済的内部収益率：19.4%</p> <p>ソフト対策、自助の整備効果等：</p> <p>住民の自助・共助の防災意識向上を図るための啓発活動や説明会を行うとともに、補助制度等（雨水貯留タンクや止水板の設置）の整備、土のう配布、情報の提供・共有の強化及び活用などを行い、対象降雨を超える降雨が生じた際、浸水被害の最小化を図る。</p>
その他	<p>平成27年6月に「福井市下水道雨水対策基本計画」を策定し、令和4年3月に改訂した。</p>